

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 09-247469

(43)Date of publication of application : 19.09.1997

(51)Int.Cl. H04N 1/44
H04M 11/00
H04N 1/32

(21)Application number : 08-083113

(71)Applicant : RICOH CO LTD

(22)Date of filing : 12.03.1996

(72)Inventor : SHOBU TOSHIBUMI

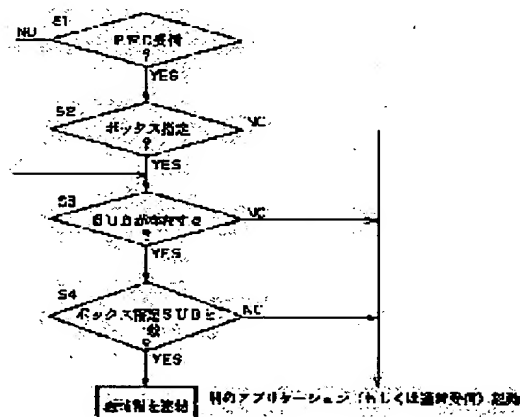
(54) FACSIMILE EQUIPMENT

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a new use method with respect to a subaddress SUB.

SOLUTION: In the case of discrimination of box designation at the reception of a SUB, when a pass word(PWD) is received (S1), whether or not the PWD indicates the use of a box designation SUB is discriminated (S2), and when the PWD indicates the box designation SUB, the SUB is checked (S3). When no PWD is included, the process proceeds to a check flow of SUB (S4) and when the PWD does not indicate the box designation SUB, other application discrimination flow is started.

Furthermore, when the SUB itself is not included in the SUB check flow, normal reception is started. When the SUB is not a box designation SUB or a corresponding subaddress is not registered in the system, usual reception or other application designated by the subaddress is started.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

17.07.2001

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the
examiner's decision of rejection or application
converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

3529219

[Date of registration]

05.03.2004

[Number of appeal against examiner's decision of
rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision
of rejection]

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 特 許 公 報 (B 2)

(11) 特許番号

特許第3529219号
(P3529219)

(45) 発行日 平成16年5月24日 (2004.5.24)

(24) 登録日 平成16年3月5日 (2004.3.5)

(51) Int.Cl.⁷ 識別記号

H 0 4 N 1/44

H 0 4 M 11/00

H 0 4 N 1/32

3 0 3

F I

H 0 4 N 1/44

H 0 4 M 11/00

H 0 4 N 1/32

3 0 3

Z

請求項の数 2 (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願平8-83113

(22) 出願日 平成8年3月12日 (1996.3.12)

(65) 公開番号 特開平9-247469

(43) 公開日 平成9年9月19日 (1997.9.19)

審査請求日 平成13年7月17日 (2001.7.17)

(73) 特許権者 00006747

株式会社リコー

東京都大田区中馬込1丁目3番6号

(72) 発明者 菖蒲 俊文

東京都大田区中馬込1丁目3番6号 株式会社リコー内

(74) 代理人 100079843

弁理士 高野 明近

審査官 堀井 啓明

(56) 参考文献 特開 平7-288662 (J P, A)

特開 平5-227392 (J P, A)

特開 平5-227406 (J P, A)

特開 平5-276285 (J P, A)

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 ファクシミリ装置

1

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】 SUB (サブアドレス) をサポートするファクシミリ装置において、通常のルーティング指定のSUBと、ボックス指定のSUBを識別し、ボックス指定のSUBが指定されたことを認識すると、前記ボックス指定と同一のボックスがある場合には、受信ファイルに識別マーカを付して当該ボックスの既存ファイルへ連結して該既存ファイルを更新することを特徴とするファクシミリ装置。

【請求項2】 請求項1のファクシミリ装置において、前記受信ファイルに所定数以上の白ラインが検出された場合は、その検出された白ラインを削除してから前記既存ファイルに連結することを特徴とするファクシミリ装置。

【発明の詳細な説明】

2

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、ファクシミリ装置、より詳細には、ファクシミリ装置においてSUB (サブアドレス) の新しい使用方法に関する。

【0002】

【従来の技術】 SUB標準では、ルーティング情報の転送を目的としてITU-T勧告に追加された。しかしながら、その具体的な使用法は規定されず、独自に親展送信や出力先指定送信等で使用されている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 上述のように、SUB標準では、ルーティング情報の転送を目的としてITU-T勧告に追加されたが、その具体的な使用法は規定されず、独自に親展送信や出力先指定送信等で使用されている。本発明は、上記のSUBに関して新しい使用方

法を提供するものである。

【0004】

【課題を解決するための手段】請求項1の発明は、SUB（サブアドレス）をサポートするファクシミリ装置において、通常のルーティング指定のSUBと、ボックス指定のSUBを識別し、ボックス指定のSUBが指定されたことを認識すると、前記ボックス指定と同一のボックスがある場合には、受信ファイルに識別マーカを付して当該ボックスの既存ファイルへ連結して該既存ファイルを更新することを特徴とし、もって、通常のファクシ 10 ミリ装置でSUBを利用してファイルを連結することで、メッセージの連結を行ない、メッセージ集約用のメッセージボックスを提供するものである。また、各ファイルの識別マーカを付加することでファイルの識別を容易にするものである。

【0005】請求項2の発明は、請求項1の発明において、前記受信ファイルに所定数以上の白ラインが検出された場合は、その検出された白ラインを削除してから前記既存ファイルに連結することを特徴とし、もって、請求 20 項1の発明を実現するにあたって、受信ファイルの白ラインを削除し、白紙部分を削減することでファイルの連結の効率化を向上させるものである。

【0006】

【0007】

【0008】

【0009】

【発明の実施の形態】図1は、本発明が適用されるファクシミリ装置の一例を説明するためのブロック図で、図中、1は原稿センサ、2はスキャナ、3は用紙センサ、4はプロッタ、5は操作表示部、6は画像メモリ、7は 30 バッテリ、8はパラメータメモリ、9は時計回路、10はバス、11は通信制御部、12はモデム、13は符号化復号化部、14はCPU、15は網制御装置、16はROM、17はRAM、18はキャラクタージェネレータで、網制御装置15を介してモデム12に転送されたV.21信号は通信制御部11に渡され、この通信制御部11でSUBが解析される。以降、ファイルの連結を行なうSUB指定を、「ボックス指定のSUB」と称する。

【0010】図2は、SUBを使用した場合のプロトコルシーケンスを示す図で、ボックス指定のSUBであることをPWD（パスワード）で示す場合にはPWDが付加され、SUBのみで指定可能な場合にはPWDは付加されない。SUBを受信すると、それがボックス指定のSUBであるかどうかを通信制御部11で解析する。解析の結果、それがボックス指定のSUBである場合は、受信した画情報はSUBと対応づけられて画像メモリ6に格納される。この時、受信した画情報は復号化部13で一旦復号され、生の画情報に展開される。この過程で必要以上の白ラインが検出された場合には、その白ラインを削除し、ファイルAを作成する。この白ラインの連 50

続性チェックでの許容白ライン数は内部設定（パラメータメモリでの設定等）により決定される。

【0011】次に、SUBにより同一ボックスが指定されたファイルを受信すると、上記と同様の処理を受けたあと、ファイルAの画情報と合成される。この合成時にはファイルの識別マーカが埋め込まれる。つまり、ファイルの連結を行ない1つのファイルを作成する場合、各ファイルの連結を示すマーカを付加する。なお、このように受信直後に画情報が連結される方法の他に、受信時には別々のファイルとして管理され、出力時にファイルの合成が行なわれる方法もある。

【0012】図3は、SUB受信時のボックス指定の判定フローを示す図で、PWDを受信した場合には（S1）、これがボックス指定SUBの使用を通知するものかどうかを判定し（S2）、ボックス指定SUBを示すものであればSUBのチェックを行なう（S3）。PWDが含まれない場合にはSUBのチェックフローに進み（S4）、PWDでボックス指定のSUBを示すものではなかった場合には別のアプリケーション判定フローを起動する。また、SUBのチェックフローで、SUBそのものが含まれない場合には通常受信となる。SUBがボックス指定のSUBではなかった場合、または該当するサブアドレスがシステムに登録されていなかった場合には、通常受信もしくはそのサブアドレスで指定される別のアプリケーションが起動される。

【0013】図4にPWDを用いた場合、SUBを用いた場合のボックス指定例を示し、（A）にはPWDとSUBを併用した場合の例を示し、（B）にはSUBのみで指定した場合の例を示す。

【0014】

【発明の効果】請求項1の発明によると、SUB（サブアドレス）をサポートするファクシミリ装置において、通常のルーティング指定のSUBと、ボックス指定のSUBを識別し、ボックス指定のSUBが指定されたことを認識すると、前記ボックス指定と同一のボックスがある場合には、受信ファイルに識別マーカを付して当該ボックスの既存ファイルへ連結して該既存ファイルを更新 30 するようにしたので、パーソナルコンピュータ等の特殊な装置を用意することなく、ファクシミリ単体で、かつ、メーカーを問わず標準プロトコルでメッセージボックス連結機能を提供できるため、容易にファイルを整理することが可能となる。さらに、連結、編集されたファイルを容易に識別できるため、容易に確認作業を行なうことが可能となる。

【0015】請求項2の発明によると、請求項1の発明において、前記受信ファイルに所定数以上の白ラインが検出された場合は、その検出された白ラインを削除してから前記既存ファイルに連結するようにしたので、請求 40 項1の発明を実現するに当って、受信ファイルの無駄を省くことができるため、効率的なファイルの連結が可能

となる。

【0016】

【0017】

【0018】

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明が適用されるファクシミリ装置の一例を説明するためのブロック図である。

【図2】 SUBを使用した場合のプロトコルシーケンスを示す図である。

【図3】 SUB受信時のボックス指定の判定フローを*10

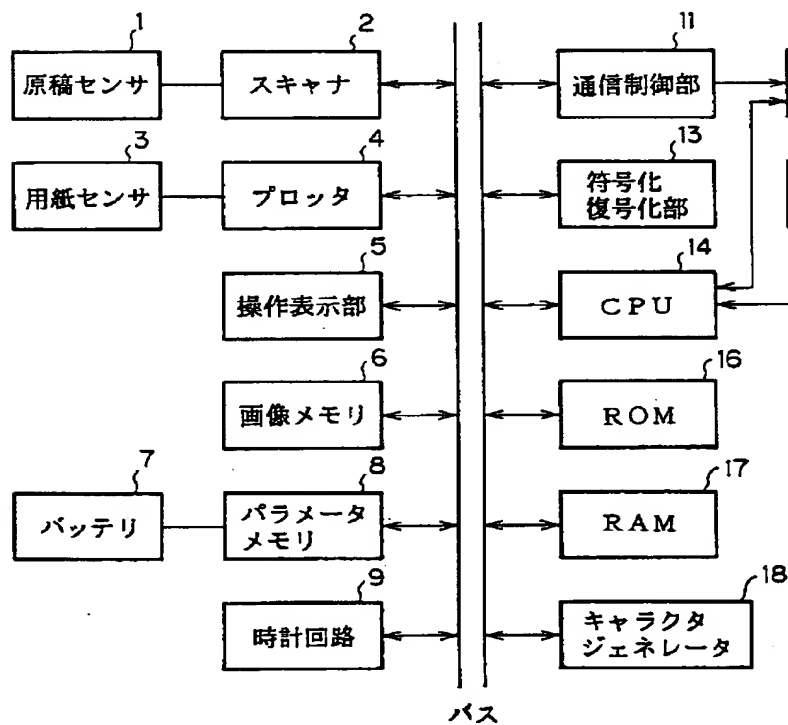
* 示す図である。

【図4】 PWDとSUBを併用した場合及びSUBを用いた場合のボックス指定例を示す図である。

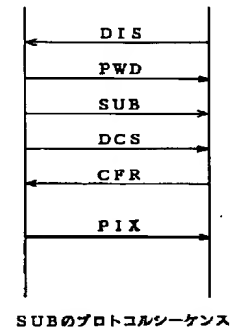
【符号の説明】

1…原稿センサ、2…スキャナ、3…用紙センサ、4…プロッタ、5…操作表示部、6…画像メモリ、7…バッテリー、8…パラメータメモリ、9…時計回路、10…バス、11…通信制御部、12…モデム、13…符号化復号化部、14…CPU、15…網制御装置、16…ROM、17…RAM、18…キャラクタジェネレータ。

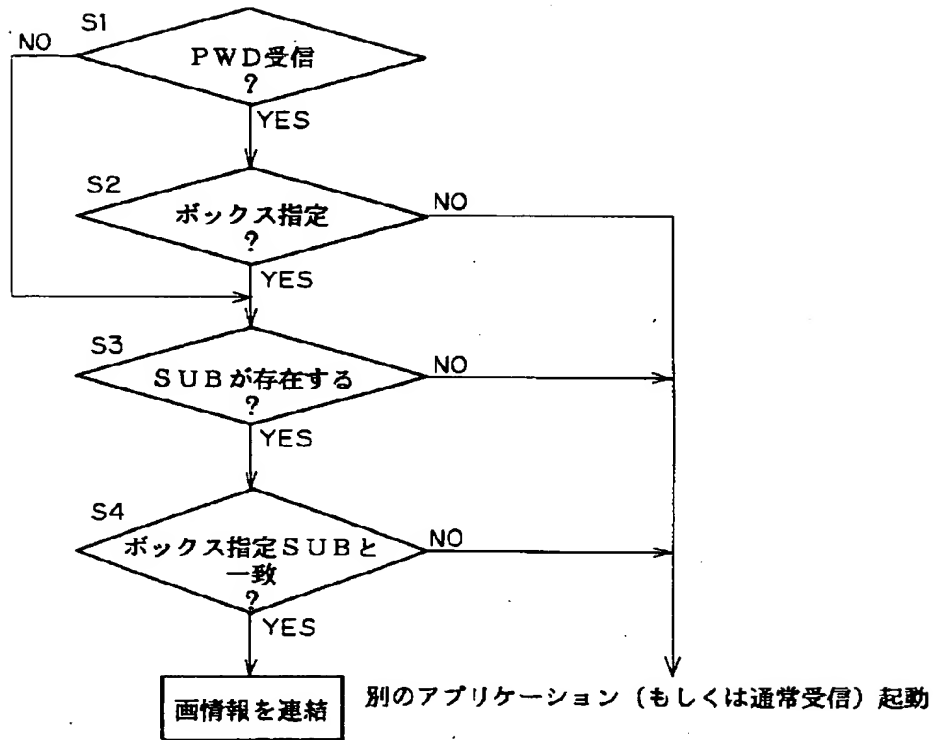
【図1】



【図2】



【図 3】



【図 4】

(A) PWDとSUBの併用

PWD 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 31 31 31 31 (Hex)
ボックス指定

SUB 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 31 (Hex)
ボックス"1"指定

(B) SUBのみで指定

SUB 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 4a 31 31 31 31 4a 31 (Hex)
" * 1 1 1 1 * " ボックス"1"指定
ボックス指定

フロントページの続き

(58)調査した分野(Int. Cl.⁷, DB名)

H04N	1/00 - 1/00	108
H04N	1/32 - 1/36	
H04N	1/42 - 1/44	
H04N	1/21	